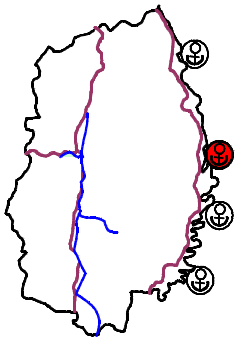
安全で安心できる地域づくり　あらゆる災害に強い安全な地域づくり

事業名	宮古港海岸高浜地区　高潮対策事業（補助：実施主体　岩手県） （岩手県宮古市）

事業着手：平成６年度	完成・供用の目標年度：平成１９年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

岩手県



「事業の必要性」

当海岸は、明治三陸津波をはじめ、昭和三陸津波、チリ地震津波と度重なる津波により、多くの死者、行方不明者、家屋倒壊、流出、浸水等の甚大な被害を受けており、地元住民は津波に対する不安を抱え、恒久的な津波対策の早期完成が強く望まれています。また、高い確率で発生が予測されている宮城県沖地震に対する被害軽減にむけた早急な対策が必要となっています。

「事業の概要」

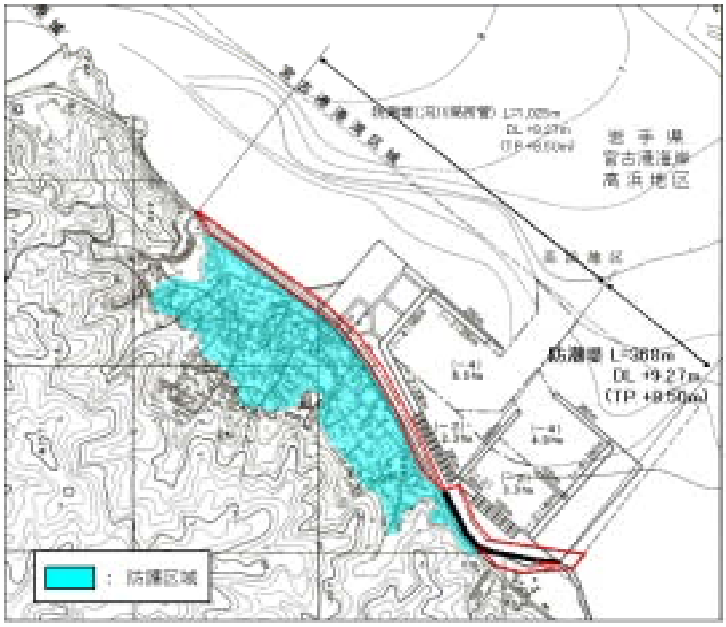
本事業は津波発生時に、人命の最優先防護、財産の流出を軽減するため、防潮堤(L=368m)、陸閘(1基)を整備するものです。

※陸閘：陸上に設置された防潮扉





宮古津波被害状況（Ｓ３５チリ地震津波）



平成１９年度の予定

○防潮堤および陸閘を整備し、事業の完成を目指します。

事　業　効　果

○明治２９年の三陸沖地震津波と同規模の津波に対して浸水被害が解消されます。
　浸水面積　（着工前）２２ｈａ　→　（完成後）０ｈａ

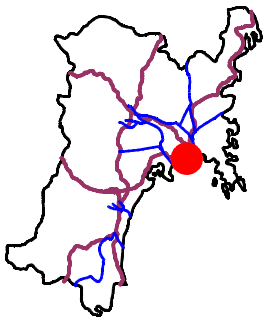
安全で安心できる地域づくり　**あらゆる災害に強い安全な地域づくり**

事業名	大曲海岸侵食対策事業（補助：事業主体　宮城県） （宮城県東松島市）

事業着手：平成2年度	完成・供用の目標年度：平成27年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

宮城県

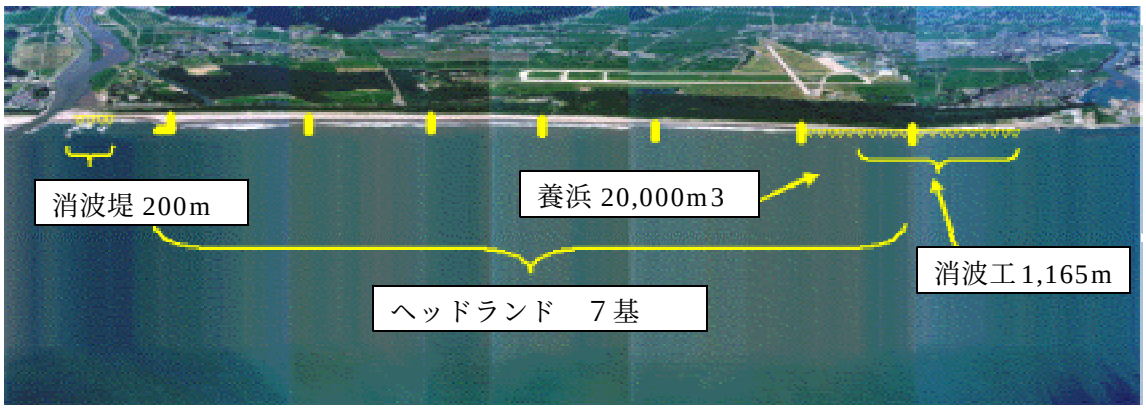


「事業の必要性」

大曲海岸は旧来より汀線の後退が著しい状況にあり、また冬季風浪や台風等により堤防の決壊等の被災をたびたび受けています。背後には航空自衛隊松島基地、山音海浜緑地公園、市街地が形成されており、漂砂を抑えるとともに前浜の回復を図り、越波を防止し背後地の安全を図る必要があります。

「事業の概要」

越波被害を軽減するため、ヘッドランド・養浜・消波工・消波堤離岸堤の整備を実施します。







平成19年度の予定

○平成19年度は、消波工を実施し、事業の促進を図ります。

事　業　効　果

○土地の侵食や海岸背後の約640戸の人家（人口約1，700人）や海浜公園、臨空道路等の約200haに及ぶエリアを浸水被害を防護します。

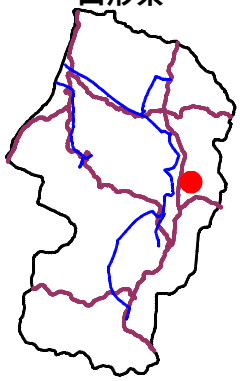
安全で安心できる地域づくり　**あらゆる災害に強い安全な地域づくり**

事業名	一本木（いっぽんぎ）土地区画整理事業　（補助：事業主体　東根市） （山形県東根市）

事業着手：平成5年度	完成・供用の目標年度：平成19年度　補助完了予定

事業の必要性・事業の概要

山形県



「事業の必要性」

本地区は、山形新幹線延伸に伴い新設されたさくらんぼ東根駅（H11.12開業）に隣接する地区であり、陸の玄関口として防災上安全で商業・業務の中枢として機能するための面的整備が必要となっています。

「事業の概要」

土地区画整理事業として約53.8haの地区内において、駅前広場および都市計画道路6路線等の公共施設整備を行います。



整備前の一本木地区



快適な住居環境、沿道環境整備が進む一本木地区



早急な安全歩行空間の確保が必要
（都市計画道路若木本郷線）



JR駅前
整備後



都計道
整備後

平成19年度の予定

○平成19年度は、都市計画道路若木本郷線、一本木駅前通り線の整備を実施し、地区内の都市計画道路の完成を目指します。

事　業　効　果

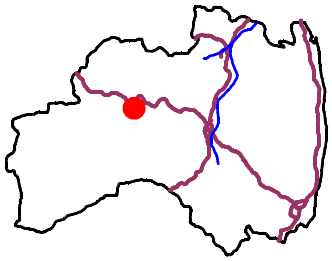
○平成11年12月に開業したJRさくらんぼ東根駅前に、新たな陸の玄関口として防災上安全な市街地を形成。
○公益文化拠点・高アメニティ中心商業拠点の形成。

安全で安心できる地域づくり　**あらゆる災害に強い安全な地域づくり**

事業名	扇町（おうぎまち）土地区画整理事業　（補助：事業主体　会津若松市） （福島県会津若松市）
事業着手：昭和６３年度	完成・供用の目標年度：平成１９年度 補助完了予定

事業の必要性・事業の概要

福島県



「事業の必要性」

本地区は、市北部における工業施設の立地を受け入れる地区として位置付けられていますが、住宅地等用途の混在化が現れているとともに不整形な農地等の低未利用地が介在しています。そのため、基盤整備により防災上安全で住宅需要に対応した宅地環境の供給と街区の再編が必要となっています。

「事業の概要」

土地区画整理事業として約107.3haの地区内において、都市計画道路の早期整備を進め、市の交通ネットワークを整備するとともに土地の高度利用と良好な市街地形成を促進します。



扇町地区全景（H16.4.30撮影）



整備前の藤室鍛治屋敷線(東)



整備後の藤室鍛治屋敷線(東)

平成１９年度の予定

○平成19年度は、都市計画道路亀賀山見線、亀賀鶴ヶ城線の整備を実施し、地区内の都市計画道路の完成を目指します。

事　業　効　果

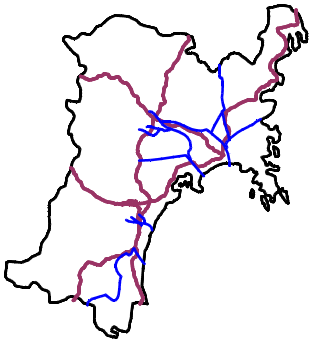
○都計道・区画道路の整備および街区の再編により緊急車両のアクセス等が確保され、また市の宅地需要にも対応した良好な市街地形成が図られます。
○都市計画道路等の整備により会津若松駅、中心市街地および鶴ヶ城を結ぶ南北の都心軸等、市の交通ネットワークが整備され、活力あるまちづくりが推進されます。

安全で安心できる地域づくり　あらゆる災害に強い安全な地域づくり

事業名	住宅･建築物耐震改修等事業　（補助：事業主体　仙台市） （宮城県仙台市）
事業着手：平成１８年度	完成･供用の目標年度：平成１９年度完成予定（仙台市役所庁舎）

事業の必要性･事業の概要

宮城県



「事業の必要性」

近い将来、高い確率で発生するといわれる宮城県沖地震等時の被害を軽減することにより、住民の安全確保と復旧費等の軽減を目指すため、各方面において緊急的に対策が進められています。特に密集住宅市街地における未耐震化の建築物や緊急輸送道路沿道の建築物は、万が一倒壊した場合に道路等を閉塞し、避難や救出活動等の支障となる危険性があります。

また、震災時の防災拠点施設や避難施設として位置づけられている建築物については、その目的を果たす性能を確保するため早急に耐震化を進める必要があります。

「事業の概要」

①住宅・建築物耐震改修等事業
旧耐震基準（昭和５６年建築基準法改正以前）で建築された住宅、マンション及び多数の者が利用する建築物等を対象に耐震診断・耐震改修に対する助成を行います。

②緊急輸送道路沿道建築物の耐震改修等事業
地域防災計画において位置付けられた緊急輸送道路沿道の建築物のうち、旧耐震基準（昭和５６年建築基準法改正前）で建築されたものについて、耐震診断に基づき必要な耐震補強を行います。





【H15宮城県北部連続地震で被災した小学校と住宅】

木造住宅の耐震補強イメージ図
※耐震診断の結果補強が必要な住宅について、改修工事費を助成する。

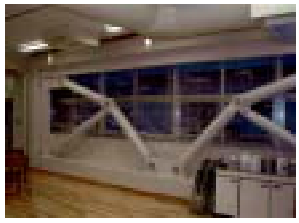




【耐震補強工事を実施する仙台市役所本庁舎】



地震によりビルが倒壊し、道路が完全に閉塞。（神戸市の例）



建築物の耐震補強の一例（イメージ）
【制震ブレース】設置

平成１９年度の予定

○仙台市役所本庁舎は、平成１８年度に着手し、平成１９年度の完成を目指します。

事　業　効　果

○住宅・建築物の地震による被害を減少させ、安全で安心なまちづくりへ寄与
○緊急輸送道路沿道の住宅・建築物の耐震性向上による道路閉塞の回避及び安全性の確保

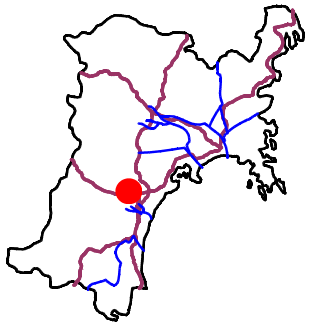
安全で安心できる地域づくり　あらゆる災害に強い安全な地域づくり

事業名	仙台市公共下水道（浸水被害緊急改善下水道事業等）（補助：事業主体　仙台市）（宮城県仙台市）

事業着手：平成１５年度	完成・供用の目標年度：平成２０年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

宮城県

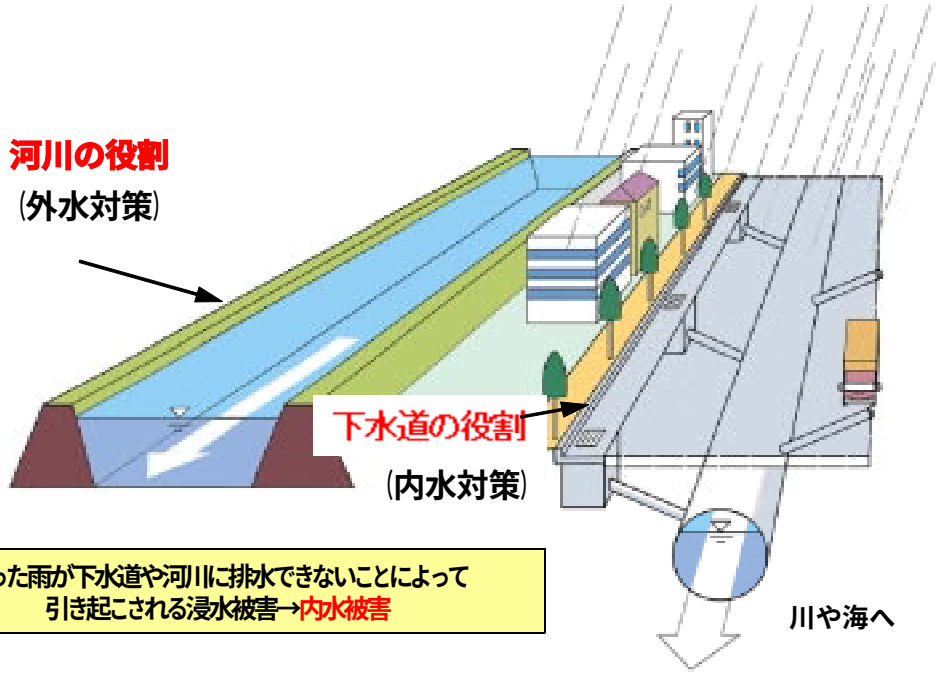


「事業の必要性」

仙台市では都市化の進展に併せ、大雨により浸水被害が生じており、下水道による雨水貯留・排水機能の強化が必要です。

「事業の概要」

大雨による市街地の浸水被害を防ぐため、雨水排水のための下水道管と排水ポンプ場施設、雨水を一時的に貯め排水量を調節するための貯留浸透施設を整備するなど総合的に事業を展開しています。





仙台市浸水状況
（平成１４年７月）



長町第一雨水幹線　内部
（仙台市下水道フェア2005より）

Ｈ 19 の 予 定

○長町第一雨水幹線への流入管渠等面整備、原町東部地区調整池・導水管、扇町雨水ポンプ場の整備の促進を図ります。

事　業　効　果

○雨水排水、貯留浸透施設の整備により、都市浸水被害を軽減します。

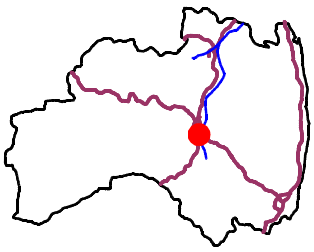
安全で安心できる地域づくり　**あらゆる災害に強い安全な地域づくり**

事業名	郡山市都市水環境整備事業（補助：事業主体　郡山市） （福島県郡山市）

事業着手：平成１８年度	完成・供用の目標年度：平成２５年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

福島県



「事業の必要性」

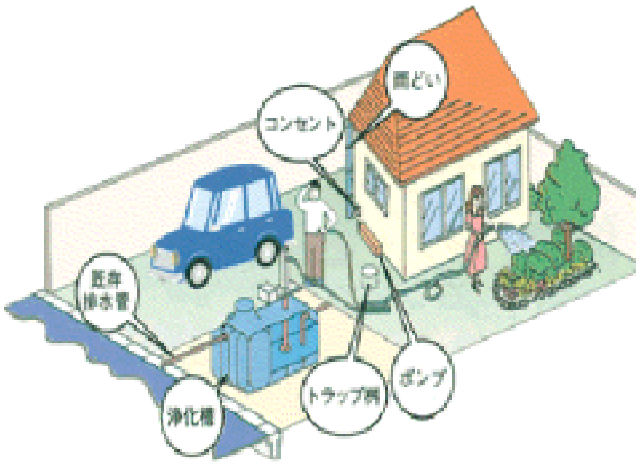
郡山市では都市化の進展と併せ、大雨により浸水被害が生じており、下水道による雨水貯留・排水機能の強化が必要です。

「事業の概要」

大雨による市街地の浸水被害を防ぐため、雨水排水のための下水道管と排水ポンプ場施設などの整備とあわせ、市民の協力を得て私有地内に雨水を一時的に貯め排水量を調節するための貯留浸透施設を整備します。



H10.8.27　豪雨時被害（郡山市内）



* 公共下水道接続工事に伴って、不要になった浄化槽を雨水貯留施設として転用します。

■利点として

1. 河川増水対策、降雨時の浸水対策
2. 水道料の軽減
3. 排水施設（水洗化）工事費の軽減）
4. 水資源の活用



水資源の活用

Ｈ 19 の 予 定

○平成19年度は、雨水貯留施設の設置を継続して実施します。

事　業　効　果

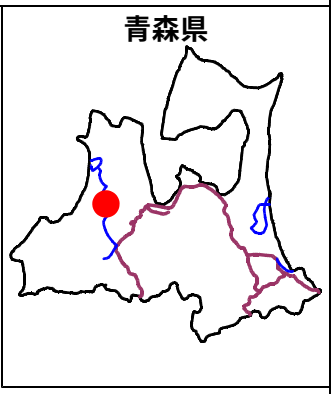
○　雨水貯留浸透施設の整備により雨水の流出を抑制し、都市浸水被害を軽減します。

安全で安心できる地域づくり　**雪に強く、安全で快適な地域づくり**

事業名	板柳(いたやなぎ)地区消流雪用水導入事業（直轄） （青森県北津軽郡板柳(きたつがるいたやなぎ)町）

事業着手：平成16年度	完成・供用の目標年度：平成19年度完成予定

事業の必要性・事業の概要



「事業の必要性」

板柳地区は、最大積雪深が173cmを記録するなど、日本でも有数の豪雪地帯となっています。さらに大量の降雪の排雪先として小河川や歩道が利用されていました。しかし、小河川では冬期に水量が不足するため、河道閉塞による流水の阻害や道路交通への障害など、地域住民の生活に大きな支障をきたしていることから、積雪対策が重要な課題となっています。

「事業の概要」

小河川の流況改善（流量増）を目的として、水量の豊富な岩木川から消流雪用水を導入するための取水設備、導水路、管理設備等を整備するものです。


積雪により河道が閉塞した状況


積雪により通学が困難な状況


緊急車両の進入が困難な状況


導 入 前


導入後（イメージ）

平成19年度の予定

○平成19年度は、揚水機場及び管理施設の整備を実施し、事業の完成を目指します。

事　業　効　果

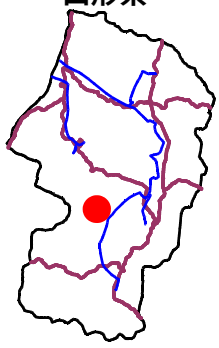
○除雪作業の軽減を図ると共に、雪害の防止や住民の生活環境の改善、安全な道路交通の確保が可能となります。

安全で安心できる地域づくり　雪に強く、安全で快適な地域づくり

事業名	今平雪崩対策事業（補助：事業主体　山形県） （山形県西村山郡朝日町）
事業着手：平成16年度	完成・供用の目標年度：平成21年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

山形県



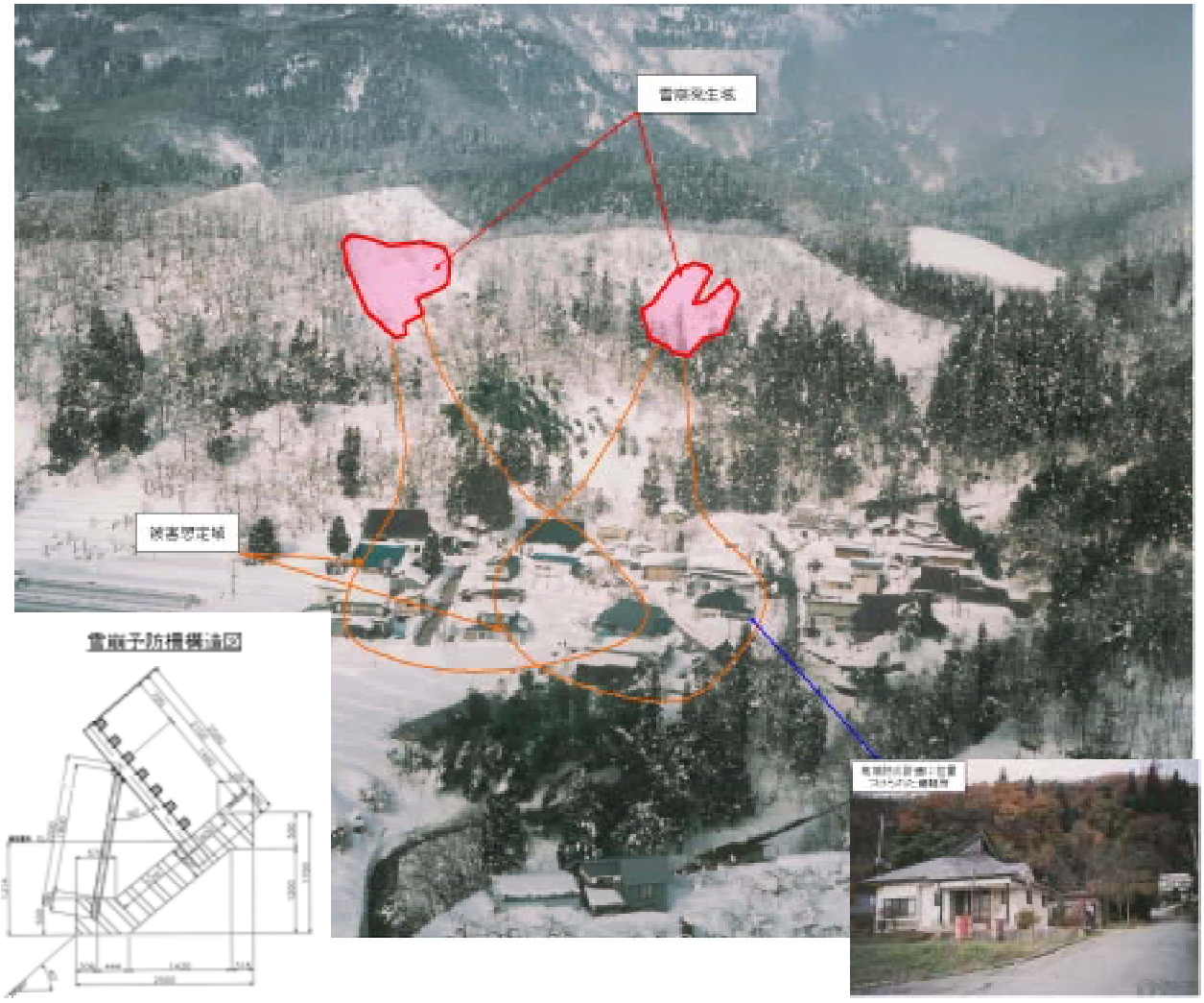
「事業の必要性」

今平地区は、西村山郡朝日町今平地区に位置しており、保全対象として民家14戸、町道、公民館及び地域防災計画に指定されている避難所を抱える雪崩危険箇所です。斜面の高さ約90m、勾配40度、既往最大積雪深2.7mを記録する豪雪地帯で、一部に植生が疎の部分があることから、雪崩による家屋等への被害が懸念されるため、雪崩防止施設の整備により雪崩災害に対する安全を確保し、民生の安全を図る必要があります。

「事業の概要」

○全体事業内容

雪崩予防柵工34基（λ型　H=2.1m）



平成19年度の予定

○平成19年度は、雪崩予防柵工を実施し、事業の進捗を図ります。

事　業　効　果

○　民家14戸、町道、公民館、地域防災計画に位置づけられている避難所を雪崩被害から保全します。

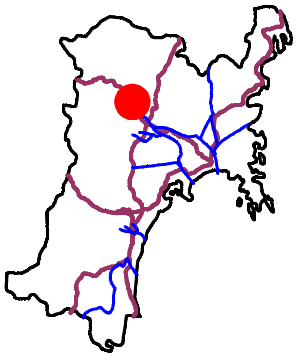
安全で安心できる地域づくり　雪に強く、安心で快適な地域づくり

事業名　一般国道47号　下野目（しものめ）地区防雪対策（直轄）
（宮城県大崎（おおさき）市）

事業着手：平成18年度　**完成・供用の目標年度：平成20年度完成予定**

事業の必要性・事業の概要

宮城県



「事業の必要性」

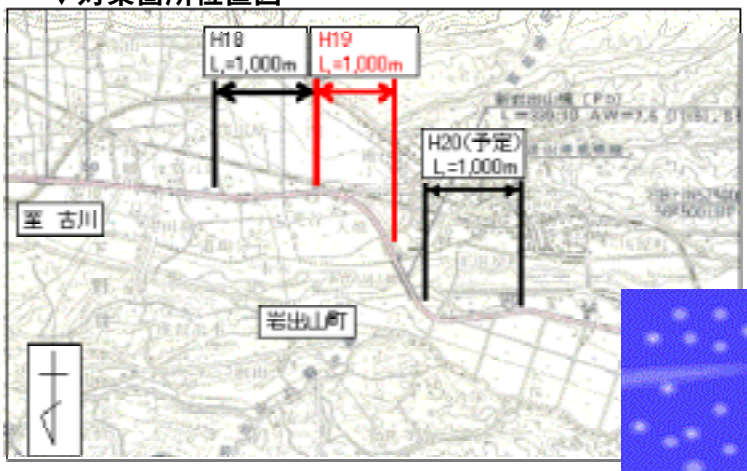
一般国道47号は、宮城県（みやぎ）仙台（せんだい）市を起点とし、山形県（やまがた）酒田（さかた）市に至る延長約180kmの主要幹線道路です。

当該箇所周辺の一般国道47号は、平坦な地形上に2m程度の盛土で構築されており、冬期間は盛土法面から吹き上がる地吹雪により視程障害が生じる箇所である。そのため、早急な対策が求められています。

「事業の概要」

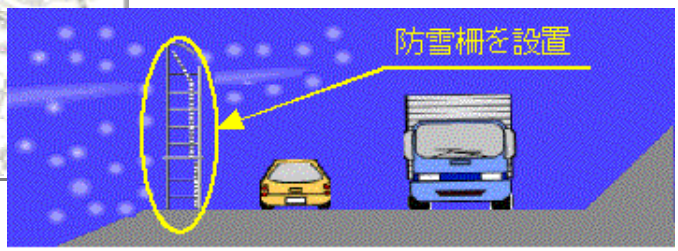
防雪対策としては防雪柵の設置を行い、冬期間の安全で円滑な交通の確保を図るものです。

▼対策箇所位置図



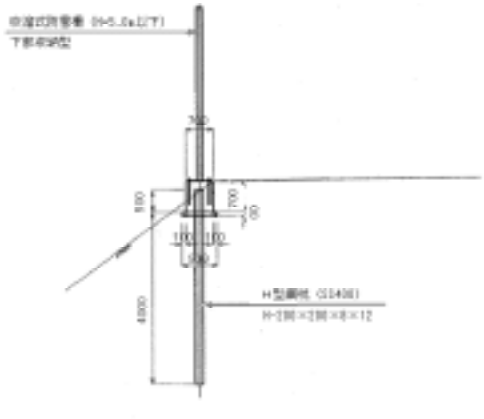


▲地吹雪の状況

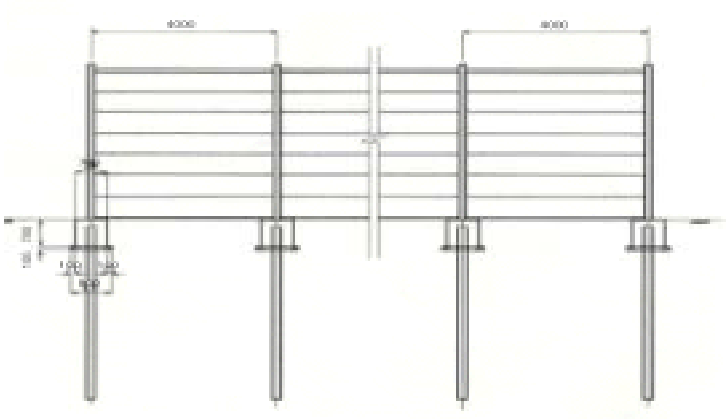


▲防雪柵が設置されている場所では
視界が良く、吹雪でも安全が確保される

▼防雪柵断面図



▼防雪柵側面図



平成19年度の予定

○防護柵設置工事（L=1，000m）を推進し、平成20年度の完成を目指します。

事　業　効　果

○防雪柵の設置を行い、冬期間の安全で円滑な交通の確保を図ります。